

平成26年度病害虫発生予報第7号(10月予報)

<今月のコラム> ・冬春期の施設野菜等におけるタバコナジラミの防除対策について
・ミーニシ(新しい北風)

<お知らせ> イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojournal/documents/h25-ineyo.html>

今月のトピックス

コブノメイガ (水稻) 学名: *Cnaphalocrocis medinalis*



被害葉 : 食害された部分が白くなる



幼虫: 葉をつづり葉の内側を食害



蛹



成虫

生態と被害

本種は水稻の害虫で、西日本での被害が大きい。孵化した幼虫は表皮を残してかすり状に食害するため食害痕が白く目立つ。幼虫期間は約20日で、つづった葉の内部で蛹化する。成虫寿命は約1週間で、その間に約100個の卵を日中に産む。本県では、二期作本田の9~10月頃に個体数が最も多くなる。イネ科雑草で越冬し、年7~8回発生する。

老齢幼虫には薬剤の効果が落ちるため、防除適期は粒剤では成虫発生最盛期、粉剤・液剤では成虫発生最盛期から約1週間後である。窒素過多の圃場で多発するため注意が必要である。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojournal/index.html>